



芝山小だより



5月号
清瀬市立芝山小学校
校長 寺井 俊敬
<http://www.kiyose.ed.jp/>

健康力を高める

校長 寺井 俊敬

季節はまもなく初夏を迎え、学校のまわりの木々も、緑が濃くなっていくのを感じます。各学年とも、入学、進級して、まもなく1か月が経とうとしています。

保護者の皆様には、保護者会でお話ししましたが、今年度の学校経営の重点として「健康力」の向上を掲げています。「健康力」の向上について、本校の様々な取組を紹介します。

まずは、体育科授業の充実です。現在、どの学校、地域でも体力低下が言われていますが、本校も所謂体力テストの結果は決して高くはありません。体育科授業の充実を目指して、教員同士で授業を見合い、よりよい授業づくりを目指して研修に取り組んでいます。体育科授業の充実によって、体力向上を目指すことはもちろんありますが、私たちが目指しているのは、それだけではありません。子供たちが生涯にわたって運動を好きになり、運動に親しむことです。体育科授業の充実を図ることで、子供たちが生涯にわたって運動に親しみ、結果として体力向上につながるとうよいと思います。

子供たちが運動に親しみ、体力向上につながる取組は体育科授業だけではなく、晴れている日は、できるだけ校庭での外遊びを奨励しています。教員も、できるときは校庭に出て、子供と共に体を動かすようにしています。もちろん体調の悪い時は無理をする必要はありません。大切なのは無理をしないことです。まずは、体を動かすことが好きになる、運動に親しむことを大切にしたいと思います。

また、「健康力」向上のためには、自身の体のことを知ることも大切であると考えます。4月から年間を通して健康診断、発育測定が予定されています。その際、学年に応じて、養護教諭より心と体の成長について学びます。3年生以上は、体育科(保健領域)の学習で、担任や養護教諭から、心と体の成長について学習します。薬物乱用防止教室や赤ちゃんのチカラプロジェクトなど、外部講師の方から学ぶこともあります。「健康に過ごすために大切なことは」「病気やけがの防止」等、自身の体について知ること、健康について考える機会となってほしいと思います。

さらに、食に関する指導にも力を入れて取り組んでいます。平成17年に施行された食育基本法でも、「健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進する」ことが求められています。本校では、栄養教諭と担任とで連携して、給食時間や教科等で「食事の重要性」「心身の健康」「感謝の心」「食文化」「社会性」「食品選択」について、食育の取組を行っています。

このような様々な取組を通して、「健康力」の向上に努めていきます。この1年間で、子供たちが「少しでも運動に親しむことができた」「少しでも健康について考えられるようになった」「少しでも好き嫌いをなく食べられるようになった」そんな姿が見られたらよいと思います。「健康力」の向上を含め、本校の教育活動について、学校ホームページ「令和6年度校長室より」を週に1回程度更新しています。どうぞご覧ください。

ところで、5月6日は開校記念日です。昨年度開校70周年を記念して、集会、式典等の取組を行いました。2階の渡り廊下には、70年の歴史を振り返るパネルがあります。保護者・地域の皆様も、授業参観等の際にぜひご覧ください。



2階渡り廊下にある70年の歴史を振り返るパネル